

実は受給できる補助金を、多くの事業主が知りません

株式会社ライトアップ
杉山 宏樹



広告・販促に使える 補助金解説セミナー

1万社以上のサポート実績のあるノウハウと最新情報をご案内します!

INFORMATION SEMINAR

当日のアジェンダ

1. 助成金と補助金の違い
2. 広告販促に使える「制度」と「概要」
3. 「採択率」をあげるためのポイント
4. 弊社申請サポート内容について

小規模事業者持続化補助金とは

- “小規模事業者”の皆様が
- “売上UP” “生産性UP”のための経費を
- “最大200万円”支援する制度



対象経費

- 機械装置等費、広報費、展示会出展費、開発費
- 旅費、資料購入費、雑役務費、借料、専門家謝金、設備処分費
- 委託料、外注費



事業再構築補助金とは

- コロナの影響を受ける“**個人事業主・中小・中堅企業**”に
- “**新規事業**”の経費を“**最大1億円**”支援する制度
- 社員数0名～中堅企業まで申請可能であり“**対象が非常に幅広い**”



対象経費

- 建物費、建物改修費、**設備費**、外注費（加工、設計等）
- **システム購入費**、**広告宣伝費**・**販売促進費**
- **研修費**、技術導入費（知的財産権導入等）



いずれかを刷新する

		販売方法	
		今まで通り	新規
商品・サービス	今まで通り	対象外	新しい販売方法に挑戦 (例：対面→EC)
	新規	新しい商品サービスの販売に挑戦	商品サービス・販売方法共に新しい

採択率アップのポイント

- “採点要素を網羅した計画書”を作成することが重要！
- “根拠（売上・競合等）”が足りずに不採択となる事案多数！
- いい計画は“安定した採択率”となる見込

補助対象事業としての適格性

・新規性（商品、市場）、適合する設備投資の有無、売上構成比、付加価値額成長率

事業化点

・実行体制、財務基盤、マーケット分析、実施スケジュール、SWOT分析

再構築点

・コロナ影響分析、SWOT分析、先端技術、地域活性化、低炭素技術、プラットフォーム性

加点項目

・緊急事態宣言に伴う休業要請による売上減少が昨対30%以上（2020年or2021年の1-3月）
・同期間の月間固定費（家賃+人件費+光熱費等）が受給した協力金の額を上回る

